

平成29年度 第1回さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会 会議録

日時 平成29年7月13日(木) 午前10時から

場所 大宮盆栽美術館2階 講座室

【次第】

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付式
- 3 あいさつ
- 4 委員紹介
- 5 報 告
 - (1) 第8回世界盆栽大会 in さいたまについて
 - (2) さいたま国際盆栽アカデミーについて
 - (3) 平成28年度入館者数等について
- 6 議 題
 - (1) 平成29年度大宮盆栽美術館の主な展示事業について
- 7 その他
- 8 閉 会
 - 配布資料
 - 資料1 第8回世界盆栽大会 in さいたまについて
 - 資料2 さいたま国際盆栽アカデミーについて
 - 資料3 平成28年度入館者数等について
 - 資料4 企画展「夏休み子どもぼんさい美術館」
 - 資料5 秋季特別展「三代目尾上菊五郎(仮称)」
 - 資料6 春季特別展「シリーズ・現代の盆栽作家 竹山浩(仮称)」

【会議内容】

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付式
渡辺委員ならびに海老沼委員に、スポーツ文化局長より委嘱状を交付

3 あいさつ

スポーツ文化局長ならびに大野館長よりあいさつ

4 委員紹介

各委員による自己紹介

5 報 告

議長：委員長

公開とすることとする。なお、傍聴人は無し。

(1) 第8回世界盆栽大会 in さいたまについて

資料を基に事務局より報告

【質疑】

委員： 世界盆栽大会そのものをどのように評価しているか。至宝展だけでなく、武蔵一宮氷川神社を始め市内各所で関連イベントが開催された。また、数年に1度は同じように商談会のようなイベントの開催を要望する声もあるがどのように考えているか、トリエンナーレと関連して教えてほしい。

事務局： 当館は平均200人/日の来場者数だが、本大会では想定以上の来館者があり、当館の認知度が高まっていると感じている。本大会ほどでは無いが、イベントの開催についても検討の必要があるかもしれない。

なお、本大会は経済局が所管のため、公式の評価は経済局と調整しながら発表したいと考えている。

トリエンナーレは文化振興課が所管となっている。3年に1度の開催を予定しているが、2020年のオリンピックに合わせて開催するべきかどうか検討をしている。次回のトリエンナーレでは、盆栽もテーマの一つとして入ってくるだろう。

武蔵一宮氷川神社会場においては、舞殿を利用したのは初めてだったが、非常に効果的であった。ユネスコの無形文化遺産への登録などの動きもあり、大会そのものは非常に有意義なものであったと考えられる。

委員： 日本各地の名品がさいたまスーパーアリーナに一堂に会した非常に素晴らしい展示会であり、海外であれほどの展示は不可能だと思われる。美術館もさいたまという吸引力を活かし、地方の盆栽の展示などを通して地方と連携するべきだと思われる。現在、所蔵品以外の盆栽はどの程度展示しているのか。

事務局： ローテーションを組んで展示をしており、地方の盆栽の展示は運搬面などを含め検討していく必要がある。なお、今年度は大宮盆栽村からの借用がほとんどではあるが、年間で200点以上の借用を予定している。

委員： 地方に目を向けることは非常に大事なことである。大宮盆栽は日本の盆栽を代表するものであり、全国や世界に目を向けることも重要だろう。

委員： 世界盆栽大会では、山田香織さんが写真とのコラボレーションで展示をしていた。他の文化とのコラボレーションをオリンピック開催年である2020年までに検討してもよいのではないか。

事務局： 異業種とのコラボレーションは創作意欲をかき立てるものであり、非常に重要

なことである。マレーシアでは錦鯉との例がある。今後、美術館で創作展をやるのも有意義であると考えられる。

(2) さいたま国際盆栽アカデミーについて

資料を基に事務局より報告

【質疑】

委員： 感覚で構わないので、受講生の割合はどのようなものか。

事務局： 男女は同じくらいであり、県外からも多くの受講生がいた。また、年齢層は 50 代以上が多いが、20 代の方も各クラスにいた。

委員： 後継者育成という側面もあると思うが、内容は合致しているものか。また、外国人コースはどのように考えているか。

事務局： 外国人はプロ意識のある人が、自国でどのように盆栽をやっていけるかに興味を持っている人が多いと思われる。

後継者育成については、美術館単独では不可能であり、盆栽園と一体となって検討していく必要がある。受講生の中には、趣味としてイチから学びたいという人、盆栽を教えることを自分の仕事の一つに加えたいと考えている人のほか、盆栽園の盆栽教室に通いたいという人や盆栽園で働いてみたいという様々な声も聞かれている。

また、中級コース修了者には、盆栽文化普及サポーターという制度を検討しており、当館で実施している盆栽ワークショップや学校連携事業などへのサポートをお願いしたいと考えている。

(3) 平成 28 年度入館者数等について

事務局より資料を基に報告

【質疑】

委員： 50 万人は目前だが、何か検討しているか。

事務局： これまでも節目の際は、当館図録などをプレゼントし、写真撮影のうえプレスリリースをしており、今年度も記念イベントを検討している。

委員： 外国人は個人か団体のどちらが多いか、また、発信はどのようにされているか。

事務局： 圧倒的に個人での来館が多い。発信については、ウェブサイトやパンフレットは日英を用意している。フェイスブックでは日英併記を心がけている。

委員： 昨年度はタイが非常に多くなっているが、何か情報を掴んでいるか。(山下委員)

事務局： 日本とタイとの友好年にあたっており、タイの観光客が増えている。実際に来館された僧侶に話を聞いたところ、インターネットを見て来館されたようである。また、タイでは日本文化を学ぶことが流行していると聞いている。

委員： 新グッズの売れ行きはどの程度か

事務局： 世界盆栽大会を記念した手ぬぐいは 3 月から販売開始したが、4 月の世界大会で完売しており、売れ行きは良いと感じている。

(1) 平成29年度大宮盆栽美術館主な展示事業について

資料を基に、事務局より説明。全会一致にて承認。

【質疑】

■夏休み子どもぼんさい美術館

委員： ワークショップの数が非常に多く、事務局の苦勞が伺えるが、リピーター育成や来館者確保のために無理しすぎずに頑張っていたきたい。

■秋季特別展について

委員： 歌舞伎の世界では、子供向けの講座も非常に多く開催されている。本展でも子供向けの催しを考えることで、歌舞伎界とのコラボレーションも期待できるのではないか。

事務局： 子供だけでなく大人も入口として参加しやすい催しを考えていきたい。なお、過去に盆山の展示を開催した際は、ロビーにて狂言の公演を開催したことがある。本展においても、歌舞伎座や国立劇場などと連携を考えていきたい。

子供向けの催しも検討したい。

■その他

委員： 先ほど、水石展を見学したが、解説が無い方が自分なりの解説を考えることができ面白いと感じた。

委員： 解説を考えさせる催しも面白いかもしれない。

委員： 情報提供になるが、福田美蘭さんの作品で、水石から創造した山水風景を描いた作品があった。描かれた山水風景を背景に水石を展示しているものだが、中国を取り入れ過ぎている日本への警鐘を意味していたようにも感じられた。また、京都の二条城に、巨大な盆栽をモチーフにした作品が出品されると聞いた。

(2) その他

委員： 非常に面白い展示をしているにも関わらず、観覧料があまりにも安すぎるとかねてより思っている。安いにこしたことはないが、安すぎて逆に大したことは無いのではないかと、思われる懸念もある。少し上げてもいいと感じている。

事務局： 条例では2倍に相当する額まで上げられることとなっており、世界盆栽大会では観覧料を500円に増額するという案も出ていた。

委員： 常設展と企画展で内容に差が出てしまい、料金を高くした場合、同じ展示内容ではクレームになる恐れがあるのではないかと。

委員： 本来、美術館というのは図書館と同様に無料でいい。文化事業か収益事業かという側面でゆがんでいる状況が国内でよくみられている。来館者が増えていることがいいことと捉えられがちだが、公立の美術館であり、また、来館者が増加してもスタッフの数が増えるというわけではないのであれば、収益を求めると無理が生じる。収益事業の側面を強くしたいのであれば、構造的な面から再検討する必要があるだろう。

事務局より、次回の運営委員会は2月もしくは3月に開催する旨を報告。

8 閉 会